

全支部 全線区で闘い抜かれた3日間！



80.1.19
No. 328

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
電話二二五八一九(公衆電話三三二七二〇七)

国鉄35万人体制粉碎、2次反合・運転保安闘争の 突破口をきり拓く！

1月10日の申第2号にもとづく対千葉鉄当局との交渉をかきりとする反処分第二波、第二次反合・運転保安闘争は、第2回支部代表者会議(1月10日)での具体的取組みの決定、1月12日の団結旗開きでの全体的な意志統一をもって、1月16日より3日間わたって全支部、全線区において、減産・非協力闘争として整然と闘い抜かれた。

国鉄当局・動労「本部」に痛打を与える！

昨年未の不当処分と「暴力行為の絶滅について」なる局報号外をもって政府・国鉄当局は、動労「本部」反動集団と一体となって、わが動労千葉つぶしの新たな攻撃を行なってきた。

他方、動労東京地本大会について、貨物安定宣言Ⅱ合理化屈服路線を一層具体的に推進するかたちで、国鉄再建のために「協定以外にかちとった要員をはき出すときがきた」とか「管理者が無能力なので、組合側から送り込む」などと全く驚くべき「運動方針」を決定した動労東京Ⅱ動労「本部」革マル反動分子。

このように労資協調路線にとりこまれ、国鉄35万人体制攻撃に屈服し、右傾化Ⅱ産報化を深める国労・動労中央とうっ積する職場・生産点での不満と闘いの胎動という状況の中で、労資協調路線を突き崩す「危険な要因」としての動労千葉の存在。

従って、政府・国鉄当局・動労「本部」革マル反動分子にとって動労千葉の存在そのものが全くがまんにならないものとして、昨年未の不当処分と局報号外が動労千葉つぶしの攻撃として強行されたのである。

こうした情勢の下で、わが動労千葉の16日以降の3日間にわたる減産・非協力闘争は、国鉄当局・動労「本部」革マル反動分子に痛打を与えるものとして闘い抜かれた。

第二次反合・運転保安闘争の突破口をきり拓く闘いを貫徹！

3日間の闘いで、乗務員においては、内房線を中心に各列車とも10分前後の遅れをつくり出し、地上勤務者においては、全支部・職場で減産・非協力闘争としてかちとられた。

こうして、16日以降、3日間の闘いは、この第二次反合・運転保安闘争の突破口として闘い抜かれたのである。

申第2号にもとづく1月10日の対当局交渉でも明らかのように、当局の合理化推進・運転保安無視の政策をすくどく追及し、国鉄35万人体制粉碎

をめざし、第二次反合・運転保安闘争として長期強靱に闘いを展開しなければならぬ。

80旗びらきで
あいつらより
闘い抜くぞ

千葉県労連事務局長 清水弘明氏
今年の情勢はよく厳しいと言われる。

しかしひるがえって考えてみれば労働運動にあって見れば闘いやさしい情勢の到来とも言える。周知のように今日では国際経済の動向が台所を直撃している。国民大衆が情勢に非常に敏感にならざるを得ない状況であり、不満・怒りがうっ積している。これをどう組織するか、こちらの姿勢いかんでは非常に大きな展望を開くこともできる情勢だ。県労連としても動労千葉の皆さん方と共に、そういう方向めざして、80春闘と参院選を全力で闘いぬいていきたい。がんばりましょう。

参議院議員 赤桐操氏
この一年間、組織内外の闘いに団結して闘い勝利された皆さん方の連帯に敬意を表する。

70年代は国民大衆にとって苦難の時代だった。倒産・首切り、失業者は三〇〇万に達している。80年代は政治・経済・社会全面にわたる大きな転機を迎えている。与野党伯仲の政治情勢、又県内的にも新たな労働運動が期待される時代を迎えた。私は80春闘をきりひらくため、そして来る参院選に勝利するため先頭で闘う決意だ。変らぬ御支持をお願いしたい。

動労千葉OB会会長 六戸良一氏
80年代は高齢化社会の時代。人間、年をとって働けなくなつてから幸せに暮せるのが人生の幸せだと思ふ。中野書記長の話の中で組合員・家族が一致団結して勝ちぬいたこの一年を想い心をうたれ、また、心強く思った。80年代へむけ一本立ちしたこの動労千葉を支え、OB会もともどもこの闘いを強め、がんばっていきましょう。